

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年8月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|------------------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 秋田横連携IoT推進ラボ協議会 | 代表者名 | 岩根えり子 |
| 担当者部署 | 横手市役所 | 連絡先電話番号 | 0182-35-2164 |
| 担当者役職 | | 担当者氏名 | |
| | | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 013-8601 秋田県横手市中央町8番2号 | | |

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

| | | | |
|-------|-------|-----------|--------------|
| 団体名 | 横手市役所 | 連絡先部署 | 総務企画部 |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | 0182-35-2164 |
| | | 連絡先E-mail | |

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 森戸 裕一 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | <ul style="list-style-type: none"> 今回の派遣事業では「ソサエティ5.0時代の地域と企業の在り方を考える～地域課題をIoTで解決～」と題してセミナーとワークショップを行っていただいたが、「横手」という高齢化社会が進んでいるという現実に着目をして、具体的な解決案やこれからの取組みについて、助言をしていただいたため。 当協議会員だけでなく、高校生に参加してもらうことを提案していただいたおかげで、ワークショップでは過去の経験や常識にとらわれることなく考えることの重要性に気付くことができたため。 |
| アドバイザーへの要望事項 | <ul style="list-style-type: none"> 地域との連携や地元に限らない学生との協業など、既存の枠組みにとられない展開の方法を引き続き、アドバイスしていただきたい。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | 派遣日 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) | 活動時間(分) |
|-----------|------------|------------------------|--------|----------|---------|
| 3-1. 活動 | 2019年8月19日 | 15時00分 | 17時45分 | 15 | 150 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 横手プラザホテル | | 最寄駅 | 横手駅 |
| | 所在地 | 〒013-0036 秋田県横手市駅前町7-1 | | | |
| | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | | | |

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|-------------------------|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 |
| | 協議会員、一般、高校生、県職員、市職員 | 45人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | <ul style="list-style-type: none"> IoTを利用することで、膨大なデータを解析する技術が普及し、新たな市場が形成され始めている。しかしながら、当協議会においては具体的な事業について、それぞれの会員が案を持っているが、それをアウトプットすることができない状況が課題である。 | |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | <ul style="list-style-type: none"> IoT、地域力、シェアリングエコノミーに着目し、地域課題の解決に繋がるアイデアの発掘や、ソサエティ5.0時代に地域を牽引できる民間サービスへの投資を促進させること。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) | <ul style="list-style-type: none"> Facebookのグループ機能を利用し、気軽に情報共有がなされる環境を構築することが必要である。 高齢化に歯止めをかけるのではなく、これからは高齢化した人たちが働けるようなスマートシティ構想が必要である。 現代はSNSやインターネットの普及によって、物理的な距離を気にせずに連携することができる時代であるため、近隣自治体との連携ではなく、東京や海外との連携が重要になる。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) | <ul style="list-style-type: none"> 短期間ではあるが、既読が付かない電子メールよりも、LINEやFacebookのようなチャット機能を活用した方が、情報共有をしやすいという意識が浸透してきた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください) | <ul style="list-style-type: none"> 今回はセミナー&ワークショップであったため、該当する内容はなし。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 実施なし | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるもののリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある |
| 事業の最終的な目指す姿 | <ul style="list-style-type: none"> 当協議会に参加している自治体と企業が同じ問題意識を持ち、ソサエティ5.0時代を生き抜くための克服課題を明確にする。 スマートシティ構想の具体化。 | |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

